

スポーツ健康学研究科 博士後期課程学位論文審査基準

1. 研究の意義および目的が学術的に正当であり、社会的還元性を有していること。
2. 研究倫理に厳格に準拠し、学術研究に求められる規範を遵守していること。
3. 研究の独創性・新規性が明確に認められ、先行研究の網羅的な収集と批判的検討が十分になされていること。
4. 研究方法論が学術的に妥当かつ適切であり、研究課題に対して合理的に設定されていること。
5. 論文における記述が客観的であり、論理展開が首尾一貫していること。
6. 図表等による明示、引用文献・参考文献・出典の適切な明記など、論文としての技術的要件を満たしていること。
7. 研究成果として新たな知見や学術的貢献が一定程度以上認められること。
8. 研究の限界に対する自覚が示され、今後の研究課題が的確に提示されていること。
9. 研究テーマと研究内容（目的・方法・結果・考察等）との間に学術的整合性が認められること。
10. 国際的な学術水準との比較に耐えうる内容であり、学界に対して長期的に寄与し得ること。

以上